



日本防災士会福井県支部

福井県防災士会会報

第5号

2009.3.31

内向けの研修会を開催

2008年12月13日(土)の午後1時から3時半にかけて、福井県防災士会会員のスキルアップを目的とした、いわゆる“内向け”の研修が開催された。

「アマチュア無線のとり方・経費、その利用法」では本会会員でもある小浜市の下嶋氏が講師を務められた。同氏は永年にわたりアマチュア無線の講習を行っている立場にある。今回の研修では1級アマチュア無線の資格を有する石川県在住の藤塚氏を帯同しての研修となった。インターネット回線を利用し、安価にアマチュア無線が利用できる「WIRES」の紹介もあった。しかしながら、災害を想定した場合は従来の方法が好ましいとの指摘も付された。4級であれば、有料講習会あるいは国家試験のいずれかでも取得でき、人数が揃えば試験の実施に対応できる等の紹介があった。講習を受けて興味を持った会員も多く、質疑応答の時間も大盛況であった。

「救命救急の資格の概要」では、本会役員であり日赤救急法指導員の四方氏が講師を務めた。同氏にはボリュームのある資料を準備いただいた。

「ロープワーク演習」は、鯖江の消防署より水野氏、木水氏を迎えて行われた。冒頭で約20分のロープワークに関するビデオ(日本防災士会作成)を見てから実習に臨んだ。本結び、半結び、二重つなぎ、巻き結び、二回り二結び、もやいむすび、二重もやいむすび、三重もやいむすび等について学んだ。木水氏は会員ではないものの、全員分のロープをご用意いただき、熱心に実技指導された。

なお、研修会で配布された資料は事務局で管理している。(子)



▲内向け研修会の様子
(上段左:下嶋氏と藤塚氏、上段右:四方氏、
下段:ロープワーク演習の様子)

福井ぼうさいの仲間 #04

氏名 四方 真二(よも しんじ) (49)

職業・勤務先 北陸電力(株) 大野電力部

防災士になるきっかけは?

赤十字救急法救急員のテキストで「防災士」という言葉をはじめて知り、活動内容を見て認定試験を受けることにしました。

防災士になってよかった事と思うことは?

被災後の対応力も必要ですが、日頃から防災・減災について意識し行動することが重要だと感じています。自分自身が被災を回避(自助)することによりはじめて近所の人への救助(互助)ができるということです。また、被災の体験談を聞いたり、研修を受講することにより自分自身のスキルアップにつながっています。

防災士として、今後取り組んでみたいことは?

防災・減災のためのスキルアップとその展開
防災士以外であなたの「得意なこと」や「日頃がんばっていること」は?

いろんな世代の方と交流ができるよう各種団体へ参加し活動しています。

「ふくい防災マップコンテスト」を実施します

当会が主催（共催は日本防災士会、福井工業高等専門学校の予定）となり「福井県内の町内会、自主防災組織ならびに個人を対象に、自作の防災マップのコンテストを実施し、優秀作品を表彰する。その作成および利活用のノウハウ等を公開し、伝え、防災意識の啓発・向上に寄与する」ことを目的として「ふくい防災マップコンテスト」を実施します。

3月6日（金）の役員会の決議を経て、3月13日（金）にAOSSAにおいて福井大学、福井工業大学、福井工業高等専門学校、国土交通省近畿地方整備局福井河川国道工事事務所、福井県安全環境部危機対策・防災課、福井市危機管理室及び福井県防災士会有志らで構成される本コンテスト事前打合せ会が開催され、満場一致でコンテストの催行が決議されました。今後、福井県防災士会の大きな事業として推進していきますので、ご協力お願い申し上げます。（子）

越前市で

平成21年2月22日（日）越前市の自主防災組織リーダー研修会が市民ホール3階大ホールで「自分たちの地域は自分で守る～自助・共助の体制づくり～」のタイトルで開かれた。

参加者は300名近くに達し、講義とワークショップが行われた。

1/3が区長、1/3が自警消防隊、1/3が町内役員その他である。災害についての話、福井県内の災害（福井豪雨、地震と豪雪）の話、そして“地域”の力で災害の防止、発生した時の被害の最小化・軽減するにはどうしたらよいかという視点でワークショップを行った。（荒）



鯖江市で

3月1日（日）進徳小学校とさばえNPOセンターで「大規模災害時における避難所運営」の研修会を開いた。自主防災組織の担当者等が参加し、150名近くに達した。

【講義】“避難所とは”を20分前後、続いて“校内エクスカージョン”として進徳小学校の校内巡回を通して避難所の配置等を考え、体育館では“寝袋で体育館に寝る”“体験を含んで、生活環境（冷たさ・床の固さ・隣の人との間の距離等）を実感したあと、3グループでワークショップを行った。

- A 誰が助けておっけるの[支援リソース]
 - B どんな助けがあるんけの[災害フェーズ]
 - C 場所とりはどれがいいんけの[避難所ゾーニング]
- で、50分余り行った。

<http://ameblo.jp/akio-kaeriyama/theme-10007876396.html>
に参加された方の報告があります。（荒）

編集後記

平成16年7月の福井豪雨災害から今年は5年を迎えますが、一部を除きおおむね復旧工事も終えようとしています。災害の教訓を生かし、風化させないためにも防災に関する啓発や訓練が大切です。福井市で7月中旬に防災フェアが記念行事として開催される予定ですが、私達防災士が、身近な地域で率先して災害に対する備えの大切さを訴えていきたいと思います。（下畑）

県内の会員数 (2009年2月28日現在)	
福井県防災士会	049名
日本防災士会	047名
防 災 士	331名

編集担当 福井県防災士会 広報・啓発担当
住 所 〒916-8507 福井県鯖江市下司町
福井高専環境都市工学科内
Eメール bousaisi@fukui-nct.ac.jp
Webサイト <http://toshichan.be.fukui-nct.ac.jp/bousaisi/>